

いなくなった／いなくなりそうだった児全員の名前、月齢、クラス これはマニュアルです。	発生日時(だいたい)	記入日
	発生場所(おおざっぱに)	記入者
その場所(部屋、園庭、公園等)にいた職員全員の名前 事例はワードに記入してください	園外保育の場合、子どもの総人数(合同で出かけたなら各クラスの人数) 他園はいたか？	

- 1)まず、下の太枠の中(いなくなったと気づいた瞬間。または、子どもが園舎、園敷地、公園などから出ていきそうになった瞬間)を書きます。
- 2)ビデオがあるなら、それを見て「前」を記入。人間の記憶はきわめていいかげんです。動画があるのに記憶だけで書いて、後で違いが見つかると、問題になります。
- 3)散歩先の場合やビデオがない場合は、「気づいた瞬間」からさかのぼって、その子が「確実にいる」と確認した時の時間と、確認した方法を短文数文で書きます。推測に基づく「この時にいたはずだ」「この時に見た気がする」は一切、書かないこと。推測で書いて、後で事実と違うとわかったら問題になります。
- 4)いなくなった場合、「いない」と気づいた後にしたことを短文で書きます。いなくなりそうだった場合、「後」は記入不要です。
時間や場所が変わったら、別のマスに書きます。欄が足りない場合、表の左にカーソルを合わせると出てくる、「○に+」マークをクリックすると、1行増えます。

時/分	起きたこと、したこと(時間に沿って、ひとマスに短い文のみ) 「誰/何が」「誰/何に」「何をした」を書く。	他の職員の記述(左の瞬間のことだけを書く。気づいた職員とは別の時間、別の場所で見たら、新たに列を足して書く)	動画有? 動画確認済?
時 分	気づいた職員が書く。単純に「○時○分、Aがいないと気づいた」「○時○分、Aが門扉を出ていくのに気づいた」だけ		
	(園、警察、保護者に電話したそれぞれの時間。保護者に伝えた内容)		
	(いなくなった場合、見つかった時間)		
	(保護者に伝えた内容)(保護者の反応)		

5) 検討は、起きたことの反省会ではありません。「私が～していればよかった。ごめんなさい」「あなたが～していればよかったのに」を言ってはいけません。過去の反省や責任追及をするためではなく、似たことが今後、起きた時にどのようにすればよいかを考えるためです。

その瞬間の環境や周囲のモノの条件、子どもたちの動き方、保育者の位置や動き方などで、「今後、役に立つかもしれない改善点」を考えましょう。園舎であれば鍵やドア、柵、パーテーションなどの構造や使い勝手、園の敷地であればドア、門扉、フェンスなどの構造が検討の最初になります。こうした物理的な方法を考えないで、「私たちが見ていればいい」は、きわめて危険ですし、効果は見込めません。

この時、「注意しよう」「気をつけよう」「声をかけあおう」「連携しよう」「人数確認をしよう」「見守ろう」「子ども(の気持ち)に寄り添おう」「危険を予知しよう」「子どもに声をかけよう」「子どもがもっと遊びこめるようにしよう」といった、あいまいな「改善策もどき」や、その瞬間とは無関係な「改善策もどき」を書いては／言ってはいけません。

記入例 1

いなくなった／いなくなりそうだった児全員の名前、月齢、クラス C (2歳5か月、さくら組)	発生日時(だいたい) 5月14日午後3時前	記入日 5月14日
	発生場所(おおざっぱに) さくら組	記入者 ME
その場所(部屋、園庭、公園等)にいた職員全員の名前 ME、TA、RY	園外保育の場合、子どもの総人数(合同で出かけたなら各クラスの人数) 他園はいたか?	

時/分	起きたこと、したこと(時間に沿って、ひとマスに短い文のみ) 「誰/何が」「誰/何に」「何をした」を書く	他の職員の記述(左の瞬間のことだけを書く。気づいた職員とは別の時間、別の場所で見たなら、新たに列を足して書く)	動画有? 動画確認済?
	とにかく鍵をかける。その前に「誰もいない確認」→	(RY) 午前中の園庭遊び中、物置を開けました。南京錠はかかっていなかったのですが、誰か使っているのかな? と思って、私も鍵をかけませんでした。私が物置から遊び道具を出している間、 <u>C、K、S</u> が手伝ってくれました ↑ 大事! 子どもはおとなの真似をしたいのだから。	動画ナシ
14時	この時間にはクラス全員が眠っていたはずだと私は思うので、Cはいた…はず? (動画で確認してください!)	(主任) クラスのビデオを見ました。Cは窓側、3人めで寝ています。部屋が明るいので、顔も見えました	動画アリ
14時50分頃	気づいた職員が書く。単純に「〇時〇分、Aがいないと気づいた」「〇時〇分、Aが門扉を出ていくのに気づいた」だけ おやつ準備をしていて、テーブルにCがいないことに気づいた	(主任) ME、TAと一緒に14時以降のビデオを見ました。Cが最後に写っているのは14時33分。この時間の後、玄関のビデオには何も写っていないので、クラスの掃き出し窓から出ていったとしか考えられない	動画アリ (室内、玄関)
15時頃	事務室に伝える。他クラスに聞き、トイレも見たがいなかった		
15時30分頃	園庭を探していた主任が、物置の中で遊んでいるCを見つけた	(主任) 園庭で探していたら、物置の中で音がしたので見たところ、Cがいた。南京錠はドアの横にひっかけてあっただけで、鍵がかけられていなかった (主任、園長、担任) 園庭カメラには何も写っていない。カメラの死角を	物置は写らないが、園庭カメラはあるかも

		通ったか	
15時35分		(園長) 市の保育課に連絡。「わかりました。気をつけて」とだけ言われた	録音アリ
16時45分	Cの保護者が迎えに来たので、起きたことを説明した。「え。そんなことがあったんですか？ 見つかるまでに40分もかかったなら、なぜ、 <u>いなくなったとわかったところで電話</u> をしてくれなかったんですか？ 40分あったら、園からどこまで行けると思っているんですか！」と叱責された。「園庭から出られることはないの、そのご心配はなさらないでください。すぐお伝えせず、申し訳ございませんでした」と謝罪するも、おさまらない様子だった	(園長) MEの保護者説明に同席。私も謝罪して、「対策を伝える」と答えた ←不明になった時点ですぐに伝える！(警察、自治体、保護者)	録音アリ

(検討)

- ・ 玄関、門扉の錠は開錠状態ならアラームが鳴るので、園の敷地から出ることはできない。園敷地も高いフェンスで完全に囲まれているので、出ていくことはできない旨、保護者に再度伝える（ただ、事務室でアラームを聞き落とすことはあるかもしれないから、「絶対に出られない」とは言えない）。今回は、物置の鍵をかけていなかったことが原因なので、物置の鍵を必ずかけるよう、そして、鍵をかける前には中に誰もいないことを確認するよう徹底する旨、園長から伝える（保育課にも伝え、保育課に伝えたとも保護者に伝える）
- ・ 不明になった時点ですぐに、保育課、保護者に伝える旨、伝える
- ・ (保育) 子どもはおとながしていることを真似ようとするので、自分が子どもの見ている前でしていることを子どもがどのように、「中途半端に」「危険に」真似をするのか、常に想定すること！
- ・ とにかく、鍵がかかっていなかったら、中を確認してから鍵をかける！ 他の人が使っていたなら、またその人が鍵をかけて使って閉めればよい
(↑ここで、「そもそも鍵をかけていなかったのは誰？」と言い出すと、犯人捜しになってしまうので、それはしない)

記入例 2

いなくなった／いなくなりそうだった児全員の名前、月齢、クラス F (4歳4か月、コスモス組)	発生日時(だいたい) 7月20日午前10時10分頃	記入日 7月20日
	発生場所(おおざっぱに) 春風公園	記入者 WS
その場所(部屋、園庭、公園等)にいた職員全員の名前 WS、KU、EA	園外保育の場合、子どもの総人数(合同で出かけたなら各クラスの人数) 他園はいたか? コスモス組16人。(他園) ペンギン保育園の1歳がいた	

時間 (時/分)	起きたこと、したこと(時間に沿って、ひとマスに短い文のみ) 「誰/何が」「誰/何に」「何をした」を書く	他の職員の記述(左の瞬間のことだけを書く。気づいた職員とは別の時間、別の場所で見たら、新たに列を足して書く)	動画有? 動画確認済?
9時45分頃		(KU) 遊び始める前に人数を私が数えました。16人全員いたので、アプリで園に連絡しました。EAが撮った写真にも16人全員います	人数を数えている間にEAがクラス全体の写真を撮影
10時		(KU) 園スマホの正時アラームが鳴った時。鬼ごっこをしている4人グループにFがいたのを覚えています、近くにいたペンギン保育園の子どもにもぶつかりそうだったので、4人に声をかけたから	なし
10時10分頃	気づいた職員が書く。単純に「〇時〇分、Aがいないと気づいた」「〇時〇分、Aが門扉を出ていくのに気づいた」だけ 遊んでいる子どもの人数を数えている時、1人足りない。Fがいないことに気づいた		なし
10時12分	私が園に連絡(「警察に電話する」とも伝える)。KUが△△署に電話して、出発前に撮った写真をもとにFの外見を伝える。EAが子どもを集めておき、私とKUが公園内を探す		
10時13分		(主任) Fの保護者に園から電話。「春風公園には先週末にも家族で遊びに行きました」「歩いて行ったから、家に帰ろうとしているのかも」→公	録音アリ

		園の職員に F の家の場所も伝える	
10 時 20 分	F の家の方向へ向かった KU が F を見つける。EA 一人では子どもをまとめておくのが難しく、私は EA と一緒に公園にいた	(KU) 泣いてもおらず、落ち着いた様子。「おうちに帰ろうとしたの？」と聞くと、楽しそうに「うん。ママとパパとばあばと遊んだんだよ！」と答えた	
10 時 25 分		(園長) 警察署、保護者に見つけた旨、伝える。保護者「よかった。お友だちや先生と遊んでいる時は、おうちに帰っても誰もいないんだよと教えておきます」	録音アリ
10 時 30 分		(園長) 区の保育課に電話。経過を説明する。「すぐに見つかってよかった」とのこと	録音アリ
11 時 3 分	帰園		

(検討)

たとえば、10 時 10 分に一番近い時間で F がいたとわかっているのは 10 時なので、この時の職員の位置、子どもたちの位置を簡単に図示（推測ではなく、事実としてわかっている範囲で。推測で話をしても無意味）

具体的な方法としては…、

- ・公園の出入り口があるなら、そこに近い場所に職員が立つ（「誰かが必ず、出入口を見ているようにする」は非現実的）
- ・広い公園の場合、子どもがバラバラになりすぎないようにするしかない（職員同士の連絡も困難になる）
- ・一気に数えられるよう、子どもを小グループに色分けしておく
- ・一度に連れていく子どもの数を減らすしかない。特に、衝動的行動が顕著な子どもが多い場合
- ・この事例の場合、発生後対応は誤っていないと思われるが、10 時 13 分の時点で保育課にも電話したほうがよかった